

[50] radix : 九州大学全学共通教育広報

<https://hdl.handle.net/2324/20415>

出版情報 : radix. 50, 2009-03-13. 九州大学教養部大学教育研究センター
バージョン :
権利関係 :

2009.3.13 No.50 九州大学全学教育広報





「歴史と社会—歩いて歴史を考える—」を受講して

農学部1年 ^{あら} 荒 ^お 尾 ^{みどり} 翠

授業の受講を決めた理由は、歴史がなんとなく好きだから、という単純なものでした。元来物語が好きだったので、歴史の流れが一つの長い長い物語のように思えて、好きになったのです。思うに、よい物語は、伝えようとするイメージを、こちらにわかり易く、かつ具体的に伝えてきてくれるものです。その意味で、この授業は素晴らしい物語の語り手でありました。

この授業において、私は、福岡城址を訪ね、田染で開催されたお田植祭と、熊本での峠道の復元授業に参加させて頂きました。そのいずれにおいても、本からはけっして得ることのできない、「生身」の歴史と触れ合うことができました。そして、そうすることで、事前の資料で学んだことをより実感的に理解することができました。

座学はもちろん重要です。文献は、我々が己の足で見て回れるよりもずっと多くの情報を私たちに与えてくれます。しかし、全く新しい分野の事柄を理解させるには、必ずしも適していないように思います。特に全学教育のように、短期間で何か伝えなくてはならないときには、文字情報だけでは難しい場合が多々あるように思うのです。例えば、私たちが初めて母語を教わったとき、大人が空を見上げて、「いい天気だね」というのを聞いて、太陽のよく照る、雲の少ない空を、「いい天気」というのだ、と理解したはずですが、或いは、夏休みにアジサイを育てて、ゴマ粒大の種から確かにコブシ大の花が十数生みれることを納得したので、文字は複雑な概念を表すことができますが、一方で、実物ほど強くスムーズに印象を与えることはできません。

「歩いて歴史を考える」の授業において私は、授業

で知った福岡城内の建造物の構造を、実際に城址に残る遺構を見ることで納得し、古地図と位置の異なる遺構から、事実と文献が食い違う事例を知り、資料を鵜呑みにしてはならない、と学びました。また、田植え祭において、機械のない棚田をつくる大変さや、その美しさ、祭りの日を迎えた喜びを体験し、峠道復元の催しで、西南戦争の遺構が今も残っているのを目の当たりにし、それがかつて現実であったことを実感しました。さらに、福岡城の石垣に残る鑿跡に興味をそそられて、授業終了後の夏季休暇時、石垣の有名な熊本城を訪ね、同様の鑿跡を確認したり、その独特の石垣の工法について調べもしました。

今までは、歴史といっても人の動きにばかり注目しており、モノにはあまり興味を抱けずにいたのですが、この授業は、私に、歴史の、新たな見方、切り口を与えてくれました。これにより、今後一層深く歴史を楽しむことができるでしょう。

私の場合は、歴史自体に元々興味を持っていましたが、全学教育における授業は、もっと、その人が欠片（かけら）も知らなかった分野への戸口たり得ると思います。多くの学生がその恩恵に預かれることを願ってやみません。最後になりましたが、自らの研究時間を割いて、機会を与えて下さる先生方に学べることは、九州大学の学生であることの大変な利点です。休日まで使い、貴重な体験の機会を作って下さった服部先生にこの場を借りて心から御礼申し上げます。駄文最後までお読み下さり、ありがとうございました。



備考 写真は西南戦争西郷軍台場跡の遺構見学会のときのもの。



御田植祭に参加して

農学部1年 ^や ^{ひろ} ^え ^り ^な
八 尋 衣 里 奈

私は2008年6月8日に大分県豊後高田市の「田洪荘」で行われた御田植祭に授業の一環として参加しました。

ここで少し田洪荘について述べようと思います。千数百年前律令制度の中で田洪郷の平坦部は公地公民として農耕がおこなわれていました。けれども、墾田永年私財法によって開墾した水田を私有できるようになり、その後豊かな水田地帯をつくるため、この土地の地形を利用して直線ではなく曲線の不揃いな水田を開発していったのです。そして宇佐八幡宮が支配する荘園となり、田洪荘は「本御荘十八箇所」とよばれ、最も重要とされる荘園となりました。現在でも、平安、鎌倉時代からつづく曲線の水田を残し、伝統を受け継いでいっています。その一環として、荘園領主などが参加する行事が開かれます。荘園領主とは水田に出資するかわりにその水田でとれたお米をもらっている水田をサポートしている人々のことです。6月には「御田植祭」、10月には「収穫祭」、11月には「献穀祭」が行われています。私はその中の「御田植祭」に参加したのです。



普段はめったに水田を目にすることがない上に、実際に田の中に入るといことは体験したことがなく虫もたくさんいたため、はじめは水田の中に入るといことに抵抗がありました。しかし、一旦水田の中に入ると、泥のやわらかさ、水の冷たさがとても心地よく感じました。私たちは田に2列で向かい合って並び田の端と端に結んだ直線上にかたまりになっている苗をひとつずつとり手で植えていきました。苗をまっすぐ植えることができずとまどっていると、地元の方が「苗

は生命力が高いからすぐに根をはり、少しの衝撃ではたおれなくなるからまっすぐ植えなくても大丈夫だよ。」と教えてくださりました。私は数本の弱そうに見える苗に自然の強さというものを強く感じました。また、足は泥にはまり思うように動かず、腰をまげ1時間ほど植えていく作業は楽しかった半面、とても長く、つらく感じました。大勢の人が同時に植えたため短時間で終わられたのですが、昔の農家の方はずっと長時間、さらに多くの田を手で植えていたということを考えると改めて農家の方は本当にすごいと感じました。普段お米というとスーパーに売ってあるお米か食卓にでてくるお米しか目にしないため、実際に自分が米作りに携わってみるとお米のありがたさ、大切さに気付くことができました。

田洪荘の伝統的な曲線の水田は、機械を使いながらも景観は守っていこうという活動が行われているようです。そして様々な祭りを開催することで伝統を残していこうとしています。私は田洪荘についたとき、景色をみてとても気持ちが落ち着き、安らぎを得ることができました。今、そのような私たちに安らぎを与えてくれる本来の姿の自然というものは少なくなっています。この「田洪荘」をはじめ豊かな自然を私たちは守っていく必要があるのだと実感しました。



(なお、参考として豊後高田市のホームページを利用させていただきました。)

サークル紹介



やります☆女子バレー部!!!!

経済学部経済工学科2年 ^{きた}北 ^だ田 ^{のり}法 ^え恵

こんにちは!!!!女子バレーボール部です(^^)~~

これから、女子バレー部の活動や魅力について紹介します!!最後まで読んでいただいて、少しでも興味を持っていただけると嬉しいです(>_<)!!

★部員★

女子バレー部(自称:女バレ)は、今現在は、三年2人、二年6人、一年6人(マネージャー2人)、計14人です。監督として一人、男子バレー部のOBの方に来ていただいて楽しく練習に励んでいます!!

★部活*バレーの魅力★

部活は大変、きついというイメージが大きいと思います。そうではない!!…と言い切れない部分はありますが、そんな大変なことだからこそその勝った時の喜びや目標を達成したときの充実感は非常に大きいものです!!また、同じ目標を持った仲間たちとともに勝つことを目指してバレーをできるなんて…なんて素晴らしいことなのではないでしょうか(*^^*)♪笑”

バレーボールは、単純なのですが落とさなければ負けないスポーツです。これはとても…深い☆自分がきつい思いをして、少しでも高く上げれば、次の人は楽にボールをあげることができるのです。仲間を思いやるとプレーは全く変わります。監督がおっしゃっていたのですが「バレーほど味方に頼れるスポーツはない。」…コレは、またまた深い☆個人技では絶対に勝てないのがバレーボールです。だからこそ、一緒に仲間とバレーをしたいと思いませんか(>_<*)??

…とこんなに、バレーについて熱く語ってしまいましたが、止まりません(^^)このあたりでやめときます♪

★試合日程★

- 5月 県リーグ
- ☆全九州大会
- 8月 ☆七大学戦
- 9月 バレーボール選手権
- 10月 ☆全九州大会
- 12月 定期戦

全九州大会とは、九州の大学が参加していて、1部~7部までに分かれていて、昇格を目指して戦う大会です。ひとつの部に約6チームいて、総あたり戦です。今、九大は4部なのですが、2部昇格を目指しています!!とても大きな大会なので、ここに焦点をおいて日々練習しています!!この大会は毎回会場が変わるので九



州をめぐることができます!!夜ご飯はみんなでご当地物を食べに行きます(^^)前回は宮崎大会だったのですが、地鶏やチキン南蛮を堪能してきました♪

七大学戦とは、旧七帝国大学が集まって行う大会です。試合自体は、本気で勝ちにいけます!!しかし、正式な大会ではないので、イメージでは…お祭りのような大会です♪応援席では仮装したり、応援で踊ったりと…応援席を見ると大会とは思えないぐらいです。また、お楽しみなのが…試合が終わった後のレセプション!!七大学、四学年全員での飲み会です♪各賞の受賞式もあるし、いろんな方とお話できて他大学に友達が作れます!!!!お別れのときは「じゃあまた来年ね☆」って寂しいけど…すごく仲良くなれます(^^)!!

★最後に…★

少しでも興味持っていただけたでしょうか?今、日々の生活に満足できていない方!!一緒にボール追いかけてませんか(^^)!?初心者大歓迎♪大学から始めた部員もいます☆練習は、火曜水曜6時~貝塚体育館、木曜6時~六本松体育館、土曜12時~六本松体育館です!!体育館で部員、ボールと一緒に待っています♪

興味持ったら気軽に連絡ください(^^) sakura-ampan.1988@au [二年:北田]



「辺境地」九州大学文芸部の魅力

文学部1年 ^{たる み ま り な} 樽海 満里奈

九州大学文芸部は、数ある学内サークル・部活動の中では割と長く存在している集まりです。現在は、学部1年生から院生まで幅広い層から成る30名ほどの部員が所属しています。主な活動内容は小説や詩など作品を持ち寄り評価しあう、というものです。文芸部員なんだからもう少し内容のあることを書けよ、と言われそうですが、部の雰囲気からしてこんな感じなのでそこは仕方ありません（笑）。とにかく、作品を書き、本の形にまとめ、それを配布なり読むなりして、感想の交換をする、という流れのどこかに存在さえしていれば皆さんも九大文芸部の仲間入りです。

正直な話、部活動紹介の主要な部分は前段落にて殆ど終了してしまったので、ここからは私が個人的にこの部に対し抱いている所感を披露させて頂こうと思います。まず第一に、「上下の垣根が無い」ということが挙げられます。無い、と言うより寧ろ、私たちが今春入部した時にはすでに打ち壊されていた後だった、という表現のほうが正しいような気がします（笑）。さきほど、自作の文章を持ち寄り評価しあう、というようなことを活動として挙げましたが（これは部内では「合評」と言われています。週に一度、日曜午前中に行われることが多いです）、その場においては非常に闊達な意見交換が交わされるようになっています。上回生といえど「物書き」というカテゴリ分けの上では対等な立場である、という考えが部内に浸透しており、それゆえ後輩が先輩の書いた小説を酷評する、などという光景は日常的に見られるものであります。「〇〇先輩、今回の新作はとんでもない駄作でしたね、どうしてあんなもの書いたんですか」「え、いやあ頑張ったんですけどねえ」などという遣り取りも非常に和やかな笑顔の下で行われます。文芸部員であるからこそ受容できる空気なのではないでしょうか（私は毎回のよう肝が冷える思いをしていますが（笑））。

二つ目の所感としては、「部員各人がやりたいことをやっている」というものです。文芸部、ということもあり、基本的な活動が「書いて、本にして、読む」というのはっきりしたものであるだけに、他の部分に関しては非常に自由度が高いわけです。夏合宿も、創作活動をしていない時間は殆ど観光と温泉だったようです（笑）。前部長の先輩は、私たちが執筆に勤しむ傍らで、他の文芸サークルでは比較的小さなサークルになり

がちである「文芸誌のレイアウト」のほうに力を入れていらっしやいました。いかにして作品を魅せるか、という信念の下、彼も文芸部内で自由に活動していらっしやったようです。



吃驚するくらいスペースが余ってしまいましたので、私の思う九大文芸部の魅力を最大限綴らせて頂きました。終わりにしたいと思います。ショートショートの本でも書いてお茶を濁せれば文芸部員らしくて良かったでしょうけれど（笑）。

自分の主義主張を誰かに最後まで聞いて貰えて、かつそれについて真剣に考えて貰える、なんて場所はないかな見つかからないものだと思います。人間は自分の評価をひどく気にしますから、作ったものには逐一感想が欲しくなったりしてしまいます。インターネット上で小説をアップロードして、感想をじっと待ってる、なんて方も今ではかなり多いのではないのでしょうか。文芸部に入部すれば、それらの願望は確実に叶えられます。厳しいコメントも山のように飛んできますが。

最近では、部外や他大学の学生さんからも活動について問い合わせを頂くようになっています。

何やってる部活なのか分からない、そんな部活あったの？等々言われがちな九大文芸部ですが、辺境地には辺境地なりの魅力があったりするわけです。



CHANGE THE FUTURE

～これからの九大祭に向けて～

第61回九大祭実行委員長 みず もと 水 本 さとし 聡

第61回九大祭、テーマ「*Final Pleasure* 六本松」—
このテーマの通り、第61回九大祭は六本松キャンパスで行われる最後の九大祭でした。しかし、第61回九大祭は私にとって「最後の六本松での九大祭」であるだけでなく、「新しく生まれ変わった2回目の九大祭」でした。

■私が2年間九大祭実行委員をした理由

きっかけは1年前の第60回九大祭でした。
当時、様々な事情から、九大祭の存続が難しいという話をちらほら耳にしていました。
そんな中、高校時代からの友人が九大祭の実行委員長に名乗りを上げ、新しい実行委員会を立ち上げようとしており、是非力を貸してほしい、という誘いを受けました。

私自身、1年生の時にサークルで九大祭に参加したのがとてもいい思い出になっており、この年の九大祭に向けてまさに準備をしようとしていた矢先のことでした。自分がサークルに参加できなくなるのは残念でしたが、九大での大学生活の中でも九大祭は絶対に欠かせないイベントで、このまま無くしたくない、という想いから、その友人の誘いに快諾し、新しい実行委員会に入りました。

■第60回九大祭からの「新しい実行委員会」とは

私たちの大前提として、「九大祭をなくしたくない」という気持ちがありました。
そのために、今までの九大祭において、普段目に見えない部分での「おかしいところ」を変えてゆく必要がありました。

その中でも大きく変わったのは、実行委員会の選び方についてです。

今までは実行委員会の選出方法についてはっきりした制度はなく、いつのまにかその年の実行委員会が立ち上がり、活動を開始しているという状況でした。また、九大祭の収入の大半は学校（学生後援会）からの援助であるにも関わらず、学校と実行委員会との連携がうまくいっていないという問題もありました。

この二点の解消のため、第60回九大祭から学校が実行委員会を学生に広く公募し、企画書審査や面接な

どを経て実行委員会を選出するという方法に変わりました。

これによって、関心のある学生が誰でも実行委員長になるチャンスを得たという点では、この公募制度に変わったことはよい変化であったと考えています。

このような変化を経て、2ヶ月という非常に短い準備期間で、10人にも満たない少ない実行委員が力を合わせ、1年前の第60回九大祭を無事成功させることができました。

当時2年生であった私は、せっかく創った新しい流れをこのまま止めたくないという想いから、最後の六本松での九大祭、第61回九大祭の実行委員長に名乗りを上げました。

■“*Final Pleasure*”にこめた想い

2008年3月、第61回九大祭の公募が始まりました。
私が決めた第61回九大祭のテーマは「*Final Pleasure* 六本松」。

*Pleasure*という言葉には楽しさ、満足、喜びといった意味があります。このテーマは、まさしく私が1年生のときに九大祭で感じた、大学生活で初めての“*Pleasure*”をたくさんの人に感じてほしい、そして何より、これだけたくさんの人が“*Pleasure*”を感じられる唯一無二の場である九大祭をこのままなくしたくない、新キャンパスでも続けていけるようにしたい、という想いをこめてつけたものです。

第60回から大きく体制が変わった九大祭、そして九大祭実行委員会。六本松で最後の九大祭をすばらしいものにしたい、そして今後とも継続して九大祭を実施できるように、第62回以降の九大祭につながる運営組織を築き上げたい、というのが私の二つの目標でした。

今後とも九大祭を実施できるように、学生からも学校からも信頼される実行委員会を創り上げたい—

しかし、その道のりは今まで以上に苦難を極めるものでした。

■「九大祭における全面禁酒禁煙」

私が最も頭を悩ませた問題がこの「全面禁酒禁煙」でした。

九大祭実行委員会を公募するにあたり、六本松地区学生専門委員会（課外活動などを担当する、学校教職員の組織）が実行委員会を公募する条件として挙げた条件の一つがこの「九大祭期間中、全面的に禁酒禁煙にすること」というものでした。

要は第60回九大祭まで実施されていた酒類販売を禁止するとともに、九大祭期間中のみ喫煙所を完全封鎖し、全面的に喫煙体制にするように、ということです。

確かに、いくら盛り上がるためにお酒が必要とはいえ、未成年者が飲酒喫煙をしたり、飲みすぎによってアルコール中毒などの事故が起こったりすることは、私たちも望んでいません。そのために第60回九大祭では、今まで何の規制もなかった酒類販売に関して「飲酒手形」という制度を新たに作り、お酒を飲みたい人に対して実行委員会が身分証明書を確し、未成年でないこと、車で来場していないことが確認できた人へのみ発行した「飲酒手形」を持った人へのみ酒類販売ができるようにしました。

このように実行委員会としても対策を取り、第60回九大祭において飲酒による問題は発生しませんでした。では、なぜ「全面禁酒禁煙」という条件があげられたのか――

六本松地区学生専門委員会の主張は「事故発生時の責任問題」。

「もし飲酒による事故が発生した場合、学校として「禁酒」という対策をとっていた場合と、そうでない場合では大きく意味が違う。学生が自分たちで対策をとっていたとしても、いざ事故が発生した場合には何の意味も持たない。いくら実際に事故が起こっていないとしても、何か事故があつてから方針を変えるのでは遅すぎる。お酒に頼らないと実施できないような学園祭なら、やめてしまったほうがいい――」

九大祭実行委員会も学生の組織、飲酒に関する事故が起こった際、学生だけで責任を負うことはできません。いくら学生で対策と講じようと、「責任問題」の一点張りではどうしようもない。

さらにこの時浮き彫りになったのが公募制度の弱点。学校が公募する立場である以上、この禁酒禁煙という方針に同意しない団体が実行委員会として選出されることはない。第61回九大祭に公募した団体は私たち含め3団体、私たち以外の団体は既にこの禁酒禁煙という方針に同意していたと聞かされました。私たちも

この方針を受け入れない限り、まず実行委員会として承認されることはない。

学校とも学生とも手を取ってともに九大祭をつくっていくための公募制度が、こんな形で利用されてしまうとは。九大祭実行委員会が立ち上がる前から、私は失意のどん底に突き落とされました。バンドサークルで九大祭に参加していた私自身は九大祭での飲酒の楽しみは知らないし、タバコもすったことが無い。でも、飲酒に九大祭の楽しみを見出している人が多数いるのは事実で、それらの人々の期待を踏みにじることになる。このままでは、「学校とも学生とも手をとってやっていく実行委員会」ではない。しかし、この方針を受け入れない限り、実行委員長にはなれない。

もう実行委員長になるのをやめようかと、何度も思いました。しかし、私には第60回九大祭で築き上げたたくさんの実績、経験がある。どの組織が実行委員会になっても、現状の公募制度では結局「全面禁酒禁煙」という方針は変えられない。かといってここでこの方針を無視するようなことがあれば、おそらく第62回以降の九大祭はない。それなら、私がこの方針を受け入れて実行委員長になったほうが、「これからも九大祭を続けていく」という大前提を達成できる可能性はより高い。散々悩んだ結果、第61回の、そして未来の九大祭のために、第61回九大祭実行委員長になることを再度決意し、面接・審議の結果私たちが第61回の九大祭実行委員長になることができました。

■2008年11月21日～23日・・・第61回九大祭当日

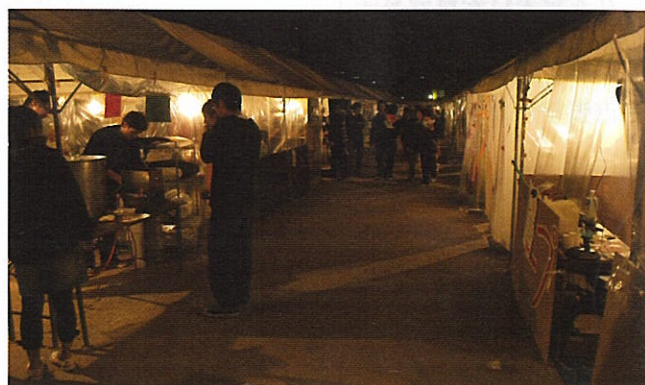
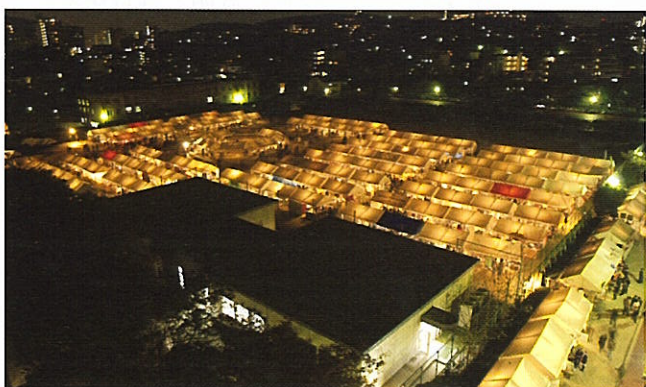
いろいろな希望と失望に弄ばれながら迎えた第61回九大祭。

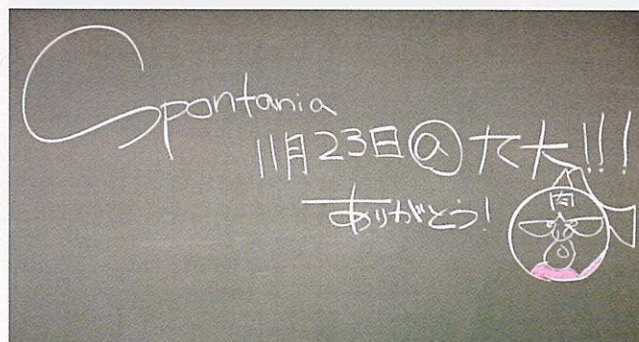
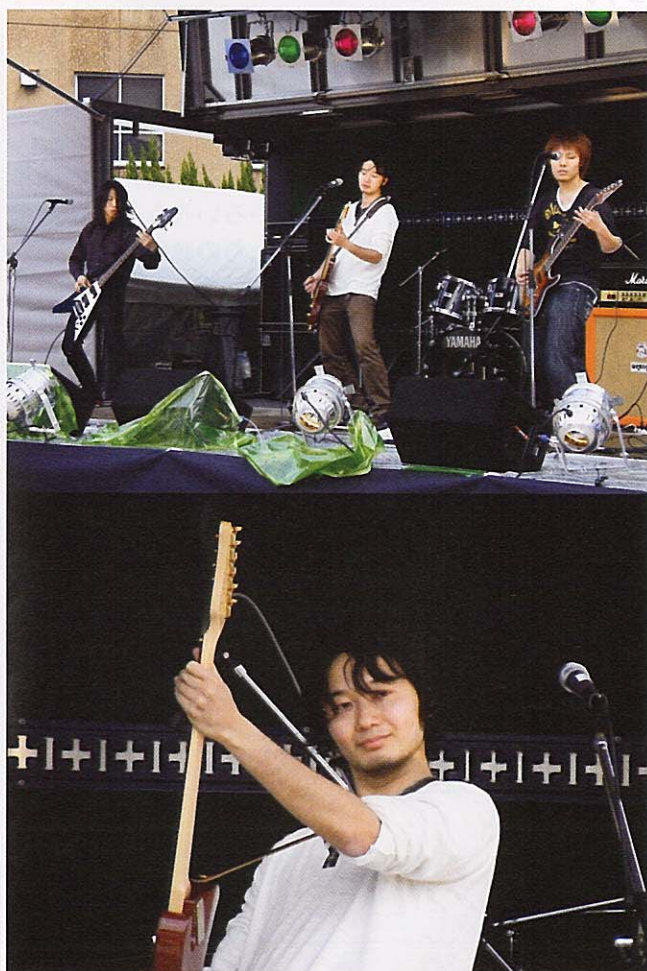
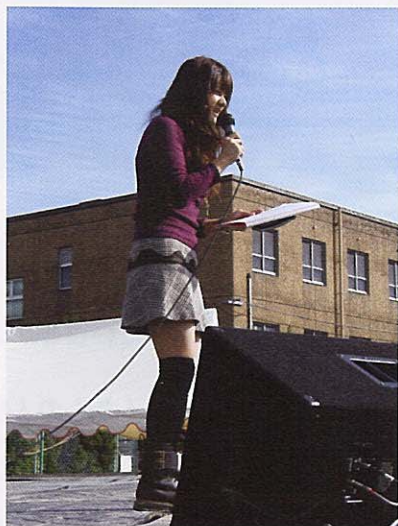
準備日、九大祭1日目、そして後片付け日まで雨に悩まされましたが、最後の六本松での九大祭ということもあってか、10000人を超えるたくさんの方に来ていただき、11月なのに暑苦しいと思えるほどの大きな盛り上がりを見せました。

次のページから各企画の簡単な説明と写真を紹介します。あの日の盛り上がりを、少しでも多くの人に感じてもらえればと思います。

①テント企画

その名のとおりグラウンド上のテントで行う企画で、毎年100を超える団体が企画を出します。飲食系の企画が多い中、近年はゲームを行う団体など種類が少しずつ多様化しています。





③教室企画

教室でのライブ演奏やショー、展示会など、最も幅広い種類の企画が行われます。



■ これからの九大祭のために

私は、新キャンパスでも九大祭がずっと実施されてほしいと願っています。

そのために皆さんにお願いしたいことが二つだけあります。

まず一つ目は、できるだけたくさんの人に九大祭に参加してほしいです。どんな企画の種類でもかまいません。九大祭全体のためになるような企画であれば、実行委員会として協力できることはできる限り協力します。

そしてもう一つ、九大祭をつくるのは学生です。実行委員会だけの力でできるものではありません。200近く参加団体が力を合わせれば、できることはたくさんあります。

2年間実行委員をしていて感じたことは、参加団体の中でも九大祭のために進んでいろいろな提案や活動をしてくれる方もいれば、自分たちの企画のことだけしか考えていないような方も多数います。確かにこれだけ質の高い企画が多いのですから、自分たちの準備だけで手一杯になる気持ちもよくわかります。しかし、全員が自分のわがままを言っているだけでは、九大祭全体はよい方向へは向かいません。どうか視野を広くもって、そして、せめて「当たり前」のことくらいは当たり前に行ってもらえれば、と思います。

第62回の九大祭がどうなるか…今から楽しみです！

ホームカミングデー2008 ～さようなら そして ありがとう 六本松～

平成20年11月22日（土）、前日までと打って変わった素晴らしい天候の中、六本松キャンパスにおいて、「ホームカミングデー2008～さようなら そして ありがとう 六本松」が開催されました。

ホームカミングデーは、本学の卒業生の皆さんを大学に招待し、過去、現在、未来に続く大学の姿をご覧いただくことを目的として平成18年度から始まりました。

六本松キャンパスは、平成21年4月に伊都キャンパスへ移転します。今回は、六本松キャンパスで開催される最後のホームカミングデーとして、卒業生の皆さんが青春時代を過ごされた同キャンパスへの思い出に浸ってもらうためのイベントを企画・実施しました。

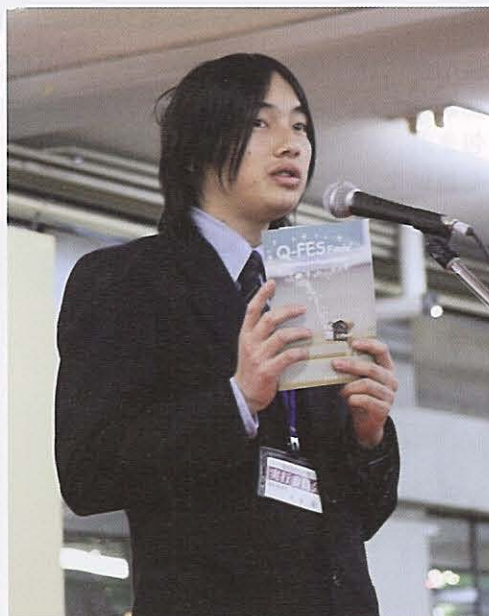
当日は好天に恵まれ、また、六本松キャンパス最後のホームカミングデーであり、九大祭開催中ということもあり、多くの卒業生の皆さんが各イベントへ参加され、母校での一日を満喫していただきました。

歓迎式に先立ち行われた「伊都キャンパスツアー」には、早朝の出発に関わらず、約90名の方が参加され、糸島半島の豊かな自然に恵まれた新しい研究・教育の拠点をご覧いただきました。



午後から六本松キャンパスの学生会館で行われた「歓迎式・懇親会」には、昭和19年卒業の方から平成16年卒業の方まで、幅広い世代の方が約250名参加されました。

歓迎式では、有川総長および梶山前総長（現 独立行政法人日本学生支援機構理事長）の挨拶に続き、在学生代表として水本聡さん（工学部3年・第61回九大祭実行委員長）から歓迎の挨拶が行われました。



歓迎式に引き続き行われた懇親会では、懐かしの学食メニュー（1960年代の復刻カレー・トンカチーフ・トルコライス・ミルクホールのコッペパン、1990年前後から提供されているジロー風スパゲッティ）を囲んで、和やかな雰囲気の中、旧友、世代間の交流が行われました。



懇親会中盤には、マンドリンクラブOBの皆さんによる演奏が行われ、懇親会場は、その繊細かつ美しい音色に包まれ、最後の学生歌「松原に」の演奏では、参加者全員による斉唱が行われました。



引き続き行われた、本学応援団の演舞では、マンドリン演奏と打って変わった力強い華麗な演舞に会場は大いに盛り上がりました。



懇親会終了後、新一号館で開催された大学文書館の折田教授による講演会（「六本松キャンパスの歴史」～旧制福岡高等学校と九州大学教養部を中心に～）には100名を超す方が参加されました。

講演会では、現九州大学の前身となる九州帝国大学、旧制福岡高等学校などの沿革や新制九州大学の沿革について、貴重な写真スライドを使った講演が行われ、参加された方は熱心に耳をかたむけられていました。



終日行われた写真展・絵画展では、大学の歴史を語る数々の写真・絵画を前にして、懐かしげに、また、興味深げに見学されていました。



また、当日は、伊都キャンパスの整備状況をパネルにより紹介しました。



ホームカミングデー終了後、参加された卒業生の方から、六本松キャンパスに名残を惜しむ声とともに、移転先の伊都キャンパスについて、「人類の幸せのための科学の発展を期し、その一翼を担う世界的な学舎を目指して、あの美しい糸島の地域とも共存しながら着実に充実していかれる姿を期待した」という言葉をいただきました。

また、当日開催された九大祭については、「予想以上の賑わいに若人のエネルギーを頂戴できた」と感謝の言葉をいただきました。

(社会連携課)



九州大学伊都キャンパス ー新しいキャンパスライフー

<新キャンパスづくりの背景と計画のコンセプト>

背景

■ 専攻教育と全学教育の分離

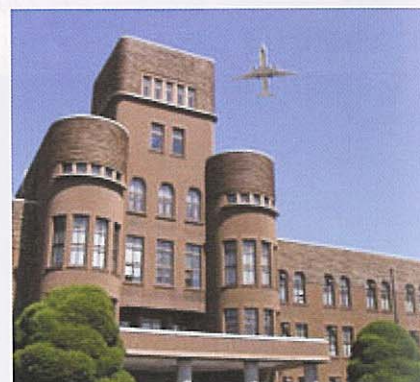
キャンパスが分離していることから、全学教育と専攻教育・大学院教育のスムーズな連携や共同研究の実施等に障害が生じています。

■ 施設の老朽化、狭隘化

施設の老朽・狭隘化により、教育研究面の高度化や多様化への適応性に乏しく、緑や憩いの空間が少ないことが挙げられます。

■ 航空機騒音

福岡空港の延長進入区域であることから、航空機騒音により教育研究に著しい支障を来しています。また、箱崎地区で、高層化・集約化した施設を再開発整備することは、航空法上の高さ制限等様々な要因からきわめて困難な状態にあります。



キャンパス上空を通過する航空機

コンセプト

■ 時代の変化に応じて自律的に変革し、活力を維持し続ける開かれた大学の構築

■ それに相応しい研究・教育拠点の創造



老朽・狭隘化したキャンパス

< 移転計画と整備の経緯 >

- 平成 3年10月 福岡市西区元岡・桑原地区への
移転を決定
- 平成12年 6月 造成工事着工
- 平成17年 4月 新キャンパスの名称を公募により
「伊都キャンパス」に決定
- 平成17年 9月 JR筑肥線九大学研都市駅が開業
- 平成17年10月 第1期開校 工学系第1陣移転
- 平成21年 4月 六本松地区移転（予定）



起工式(2000年6月)

JR筑肥線九大学研都市駅
(2005年9月開業)ウエスト3・4号館完成時の様子
(2005年5月)

初の講義風景(2005年10月)



センター地区完成イメージ模型

< 移転スケジュール >

時 期	第Ⅰステージ (平成17年度～平成19年度)	第Ⅱステージ (平成20年度～平成23年度)	第Ⅲステージ (平成24年度～平成31年度)
伊都キャンパス への移転	工学系Ⅰ、Ⅱ 理系図書館Ⅰ	全学教育 比較社会文化研究院 言語文化研究院 数理学研究院 理学部数学科 高等教育開発推進セン ター 他 理系図書館Ⅱ	理学系(H26) 情報基盤研究開発セン ター(H27) 中央図書館(H29) 文系(H29,H30) 農学系,その他(H31)
伊都キャンパス の総人口	約5,200人	約10,800人	約18,700人

平成21年4月
六本松キャンパスが伊都キャンパスへ移転



九州大学六本松地区の伊都移転によせて

九州大学総長 あり 有 かわ 川 せつ 節 お 夫

九州大学は、教育においては、世界の人々から支持される高等教育を推進し、広く世界において指導的な役割を果たし活躍する人材を輩出し、世界の発展に貢献することを目指しています。また、研究においては、人類が長きにわたって遂行してきた真理探求とそこに結実した人間的叡知を尊び、これを将来に伝えてゆくとともに、諸々の学問における伝統を基盤として新しい展望を開き、世界に誇り得る先進的な知的成果を産み出してゆくことを自らの使命として定めています。

そのためには、自由闊達な発想と洞察でもって、常に高みを目指し、新しい地平を切り開いてゆく絶えざる挑戦が求められます。

こうした世界第一級の教育・研究と診療活動を展開し、アジアに開かれた知の世界的拠点大学として、多くの留学生を引き寄せ、また、西日本を代表する基幹総合大学として、都市と共に栄え、市民の誇りと頼りになる大学として、発展し続けることが、九州大学に期待され宿命づけられています。

そのために、すべての学生・教職員が自信と誇りをもって、勉学に勤しみ、職務に精励できるような環境を整備する必要があります。快適な環境のもとで、学生・教職員が、より高みを目指して努力し、立派に育ち巣立った学生達がより優秀な学生を引き寄せ、高度な研究業績や診療業績等をあげた教職員がより優秀な教職員を引き寄せる、といった正のスパイラルに乗せることによって、大学は活性化し、持続的に発展するものと考えます。

九州大学は、こうした目標を達成するために、学生・教職員の活動環境としてのキャンパス整備をすすめています。伊都キャンパスは、これまで九州大学がおこなってきた様々な改革を早期に実現するための舞台であり、基幹総合大学として飛躍するための新たな基盤・環境として整備中です。そのなかでも六本松地区の伊都キャンパスへの移転は、永らく分断状態にあった全学教育課程と多くの専門分野とを統合するうえでの重要な過程の一つであり、本学の悲願でもありました。

また、地元自治体、地元経済界、国の機関と連携して、糸島半島の豊かな自然環境と共生する学術研究都市を伊都キャンパス周辺に整備しています。そのなかで、九州大学伊都キャンパスとその隣接地をコアゾーンと位置付け、学生・教職員・地域住民の一体的なまちづくりを準備しています。民間の研究施設や学生住宅などが建設されるなど、これからの数年間で伊都キャンパスの隣接地は大きな変貌を遂げることになります。

伊都キャンパスへの移転過渡期は、既存のキャンパスではできない、新しいキャンパスが形成される今しかできないことがあります。キャンパスにおける水素の一大研究拠点の整備や、地域住民の新キャンパスへの期待を背景にした「伊都祭」開催など、新しいできごとが生まれています。伊都キャンパスへの移転は、こうした新しい取り組みを始めるのに絶好の機会であると考えます。

移転過渡期は、学生・教職員の皆様に多少のご負担をかけますが、研究教育や生活面に関する皆様からいただいた様々なご意見をもとに、九州大学としてできる最善の策を講じる努力をしています。伊都キャンパスでの自由闊達な活動を通して、皆様がすばらしい成果をあげることを願っています。



伊都キャンパスへようこそ

システム情報科学府修士課程2年 かわもと さとし
川 本 哲

ついに全学教育が伊都キャンパスへ移転します。2年ほどお世話になった六本松キャンパスが無くなると思えば寂しいようでもあり、いま通っている伊都キャンパスが活気付くと思うと嬉しいようでもあります。

さて、本稿では、伊都キャンパスで私が経験した、いくつかの象徴的なエピソードをご紹介します。伊都キャンパスの紹介に代えさせて頂こうと思います。

私の研究室はウエスト2号館の10階にあります。廊下側の壁が全面ガラス張りという一風変わった造りになっているため廊下の様子が室内から見通せるのですが、移転したばかりのころ、廊下を運送業者の方が台車を押しながら何かを探して研究室の前を右往左往しておられました。何事か聞いてみると、9階にある部屋に荷物を配達する途中だがどうしてもその部屋が見つからないとのことでした。9階にある部屋を10階で探しても見つからないのは当たり前ですが、実は伊都キャンパスのウエスト地区は傾斜の上に建っているので2号館と3号館は階が1つずれており、2号館の10階は3号館の9階とつながっているのです。この運送業者の方は3号館の9階から2号館に来られたそうで、ここが10階だと聞くとずいぶん驚いておられました。

別の話。私の研究室が移転してはじめての冬、専攻全体に「イノシシの出没に関する注意喚起」というメールが回りました。日く、イノシシが出たので気をつけろとのこと。夜になると妙な毛深い影が地面を走り回っているような気がしていたので、「そうか、気をつけんといかんあ」と真剣に思ったものです。ところが、箱崎に通っている友人たちはこのメールを見て大爆笑していたそうです。なるほど、伊都キャンパスに通っていると思いが「伊都化」されるのかもしれませんが。なお、現在では十分な対策がされており、イノシシをキャンパス内で見かけることは無いようです。

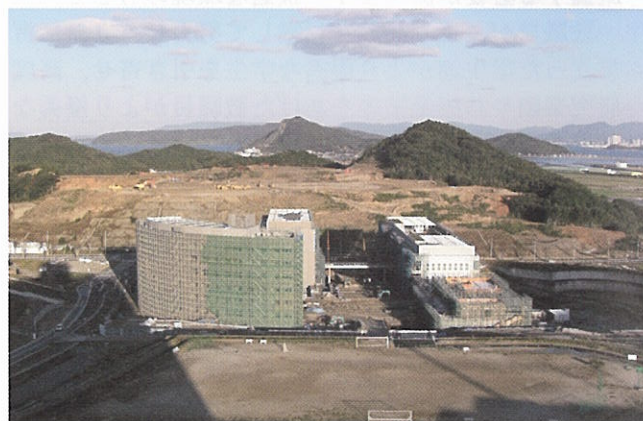
また別の話。2008年の春のこと。大掃除をしていたら夜になってしまったことがあります。伊都キャンパスではゴミ出しは基本的にいつでもできるので、ゴミを捨ててもう帰ろうと思い、不燃物の重たい袋を抱えて研究室を出ました。ところが、不燃物捨て場はキャンパスの端で、街灯も何も無く真っ暗でした。状況を確認せずに夜にゴミ捨てに行くのが悪いのですが、ほとんど何も見えなくてどこにどう捨てればいいのか

分からず、なかなか往生しました。ただ、この夜は満月だったので、目が慣れてくると月明かりで何とかなりました。考えてみると、月明かりというものを実感したのは生まれて初めてだったように思います。

さて、これらの話を見てどう思われたでしょうか。

「建物は分かりにくいし有害鳥獣は出るし道は危ないしけしからん」と思われるかもしれませんが、経験した本人たる私は、別にそうは思いません。階がずれているのは1度聞けばそれ以上困ることは無いですし、イノシシはもう出ないようですし、月明かりの一件はとても貴重な体験ができたと思っています。伊都キャンパスは六本松キャンパスではありません。突き詰めてしまえば、それだけのことだと思います。それぞれに長所と短所があります。伊都キャンパスは個性的な分、長所も短所も他のキャンパスより多いかもしれません。

短所に嘆いて不平を言うよりは、長所を最大限享受し、短所を可能な限り改める努力をする方が建設的であるし、実際にやってみて楽しいことだと思います。これから伊都キャンパスに移転される皆さんも、どうぞ今までとは違う生活を最大限楽しめますよう。





新しいキャンパススタイルを創る

工学府物質プロセス工学専攻博士後期課程3年 くほやま 久保山 ひろし 宏

「伊都キャンパスは不便だ。」「伊都キャンパスは何もない。」キャンパス移転が開始して3年、色々な学生が口にしてきた言葉だ。六本松や箱崎と比べたら交通の便はよいとは言えないし、飲食店などの店舗が沢山あるわけではない。それは事実である。そして、もともと街ではなかった場所に大学ができていたわけだから、それは当たり前のことだ。伊都キャンパスはこれから作られていくキャンパスなのだ。

では、移転過渡期にこのキャンパスで過ごす私たちは、運が悪かったとでも言うのだろうか。「ないもの」ばかりを見て、愚痴を言って過ごすのだろうか。そんな大学生活はつまらない。20歳前後という貴重な時間を「時期や環境が悪かった」と周りのせいにして過ごすのはもったいない。限られた大学生活、楽しまなきゃ損である。「ないもの」にばかり目を向けず、「あるもの」に目を向ける。そして、どう楽しむか考えるのだ。幸い糸島には自然も歴史もおいしいものも沢山ある。不便だという割には、天神まで乗り換えなしで行けるので、他の地方に比べると断然交通の便は良い。私たちが知らない（見ない）だけで、色々なモノがこの地域にもあるのだ。それを使わない手はない。

例えばサークル活動。地域の公民館や運動公園を利用して練習しているサークルはすでに沢山ある。また、地域と密着した活動を行っているサークルもある。

『F.E.E.L.(フィール)』という学生団体は、伊都キャンパス周辺の公民館で小学生対象に理科実験等の体験教室を提供している。毎回子供たちと楽しく活動しており、大学生は子供たちのアイドル的存在だ。活動が口コミで伝わり、いろんな公民館からのオファーが絶えない。結成して2年足らずで毎月1、2回は公民館に出向くようになった。限られた大学の敷地内ではないので活動場所には困らないし、子供たちと接するのは楽しい。

伊都キャンパスでは身近に娯楽施設が少ない分、何か面白いことをしたいという学生たちが独自にイベントを開催することもある。ツーリングやバーベキューの企画をしたり、留学生や地域の人との交流カフェをやったりしている。『伊都祭』はその中でも大規模な



もので、2007年に初めて開催された。実行委員会に大学生のみではなく、地域住民、行政職員、大学職員を巻き込み、大学と福岡市西区（西部6校区）、前原市、志摩町、二丈町の4つの行政区協働のお祭りという前代未聞のイベントだ。地域の持っているモノと大学の持っているモノを持ち寄り、互いの魅力を見せ合う祭りで、第一回の2007年には3000名以上が来場した。実行委員として参加した学生は、普段の学生生活では味わえない多くのことに携わったり、いろんな立場の人に会ったりと貴重な経験をした。そして、ここで培った人間関係は、その後のキャンパス生活でも役に立っている。

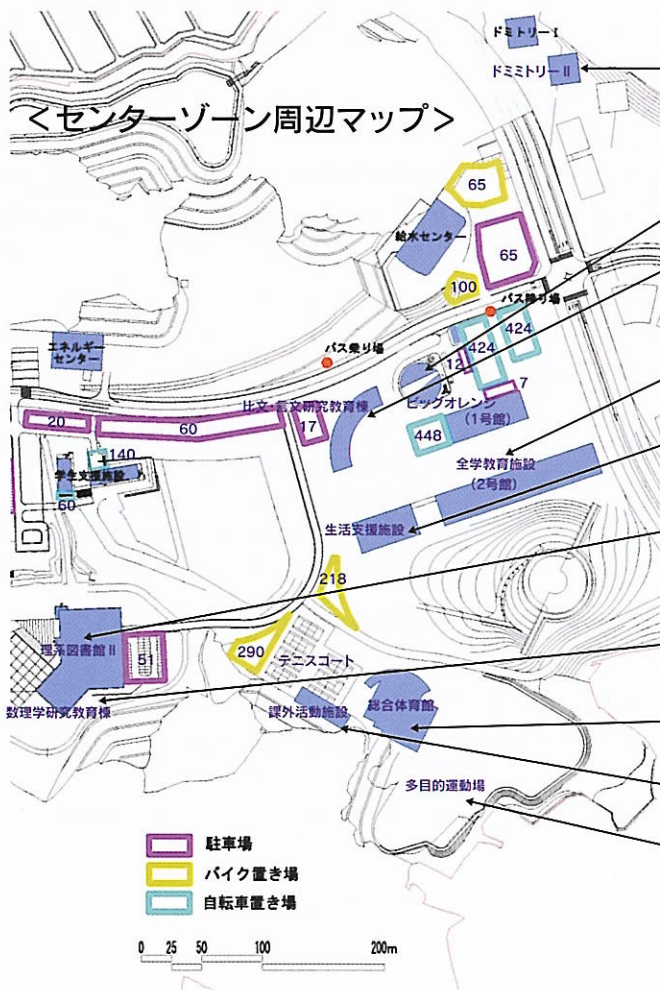
他にも、夕焼けがきれいな海岸や桜や紅葉がきれいな公園など、季節ごとに楽しめる場所も沢山ある。おしゃれなカフェや工房なども結構あるのでドライブやツーリングにはもってこいの地域である。六本松や箱崎では実現できないキャンパスライフが伊都なら実現できることも沢山あるのだ。自分たちのスタイルを創って大学生活を思いっきり楽しもう！

F.E.E.L. (HP)

http://www.geocities.jp/feel_education/

伊都祭2008 (HP) <http://itosai.web.fc2.com/>

<伊都キャンパスを使いこなそう>

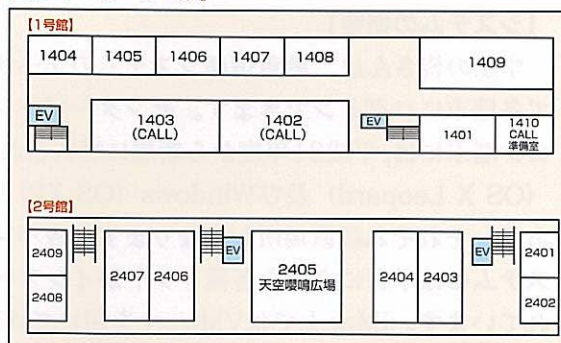


用途等	部屋名等
・学生寮 ・研究者宿泊施設 ・留学生宿泊施設	・学生寮 242戸 ・研究者宿泊施設(単身) 6戸 ・研究者宿泊施設(夫婦) 6戸 ・留学生宿泊施設(夫婦) 20戸
・情報発信拠点 ・食堂、書店	・食堂・130席 ・書店
・比較社会文化研究院・学府 ・言語文化研究院	・教員研究室・92室 ・実験・実習室・38室 ・セミナー・院生研究室・15室
・全学教育 ・高等教育開発推進センター ・21世紀プログラム ・事務部 ・カフェ・軽食	・講義室・68室 2号館・40室(一般講義室:60~500人) 1号館・28室(情報・理系実験室等) ・教員研究室・14室 ・カフェ・軽食・200席 ・学生関係事務・1号館2階
・食堂、売店 ・健康科学センター(センター地区分室)	・食堂・920席 ・売店(ローソン)
・六本松地区対応図書(2階) ・数理学研究院・学府(3階) ・理学部 数学科(3階) ・カフェ(1階ロビー)	・開架閲覧室・11室 ・院生研究室・10室 ・セミナー室・7室 ・カフェ・40席 (H21年10月供用開始)
・数理学研究院・学府 ・理学部 数学科	・教員研究室・セミナー室・31室 ・教員研究室・45室 ・セミナー室・17室 (H21年10月供用開始)
・正課授業、課外活動利用	・第1~5アリーナ バスケットボール、バレーボール、バドミントン、 卓球、剣道、柔道
・サークル利用	・サークル室・66室
・正課授業、課外活動利用	・ミニサッカー場1面、フットサル2面 (ソフトボール2面兼用) (H21年10月供用開始)

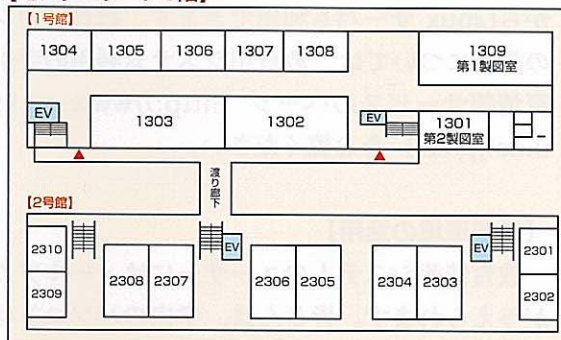
(※ 特記なきものは、H21年4月供用開始)

伊都地区全学教育関係 教室等配置図

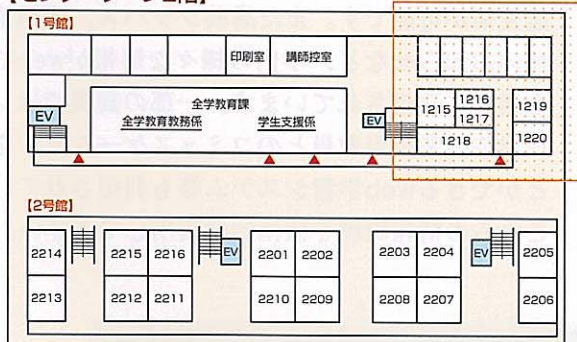
【センターゾーン4階】



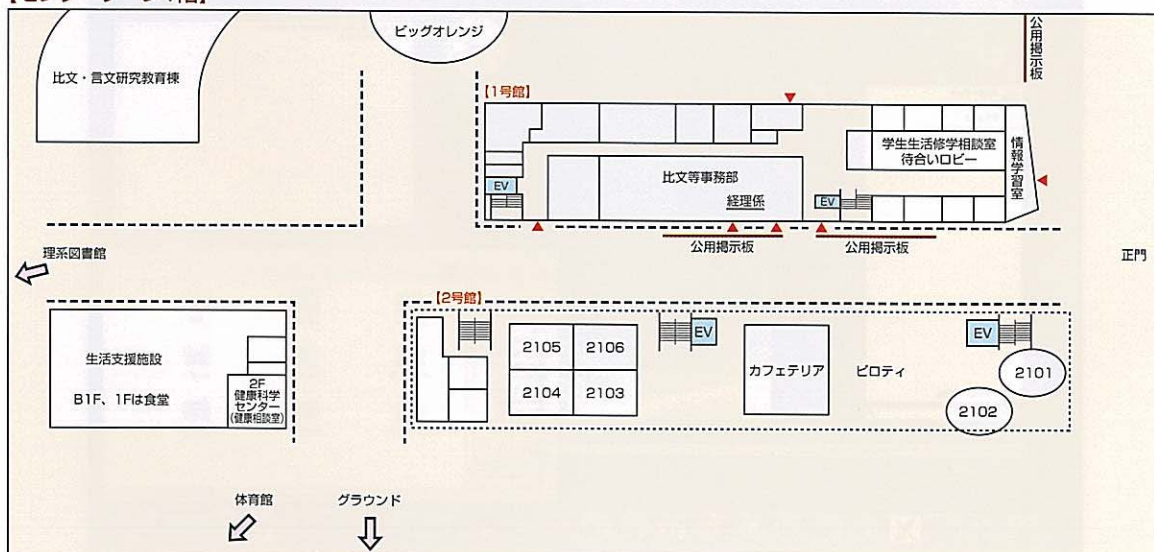
【センターゾーン3階】



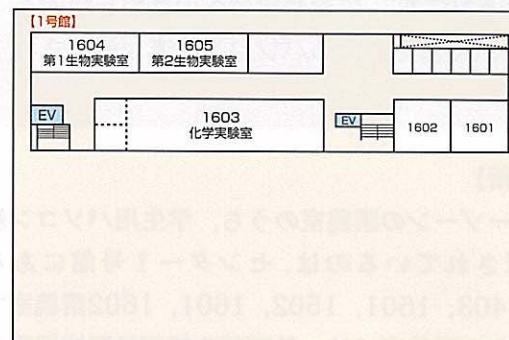
【センターゾーン2階】



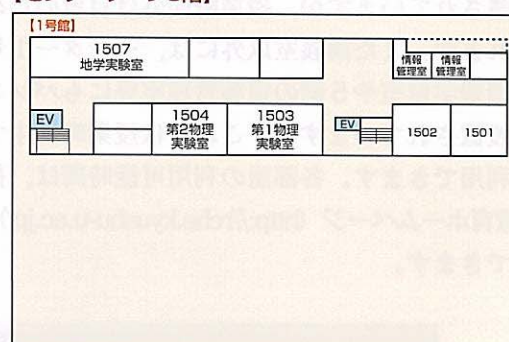
【センターゾーン1階】



【センターゾーン6階】



【センターゾーン5階】



～パソコンの利用環境～

九州大学ではICT (Information and Communication Technology) を利用した教育の環境整備が進められており、その一環として各キャンパスに学生の皆さんが利用可能なパソコンを数多く設置しています。伊都キャンパスのセンターゾーンにも、講義や自習への活用を目的として、500台を超えるパソコン端末が設置されています。

【設置場所】

センターゾーンの講義室のうち、学生用パソコン端末が設置されているのは、センター1号館にある1401～1403, 1501, 1502, 1601, 1602講義室です。これらの講義室では、外国語や情報処理演習等の授業が開講されていますが、授業時間外は自習のために開放されます。また講義室以外には、センター1号館1階の情報学習室や5階の情報管理室等にもパソコン端末が設置されていますが、これらは授業時間中でも自由に利用できます。各部屋の利用可能時間は、掲示や全学教育ホームページ (<http://rche.kyushu-u.ac.jp/>) から確認できます。

【システムの概要】

学生の皆さんは、教育情報システムのユーザーとして各端末にログインできます。センターゾーンのパソコン端末には、平成21年度から新規に導入されるiMac (OS X Leopard) 及びWindows (OS XP) 端末があり、それぞれ設置場所が異なります。各パソコンシステムには学習に必要な各種ソフトがインストールされています。iMac上ではVMwareを用いてWindows Vistaを利用することが可能であり、また全ての端末からLinux サーバも利用できます。教育情報システムの詳細については、教育用システム利用の手引きや教育情報サービスのページ (<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/ec/>) をご覧ください。

【情報環境の活用】

教育情報システムのユーザーにはメールアカウントが与えられます。皆さんは、学内のパソコンはもちろん、学外からもそのアカウントを利用して、メールの送受信が可能です。また講義シラバス、成績確認や各種のお知らせなど、学内の様々な情報がwebやメールを通じて発信されています。一部の講義ではレポート提出や授業担当教員とのコミュニケーションを取ることができるweb学習システム等も利用されています。これらの情報環境を積極的に活用して下さい。



【ノートパソコンの活用】

センターゾーンでは、皆さんが所有するノートパソコンを学内で学習に使用できるよう、無線LANや電源・LANコンセントの利用環境整備を進めています。4月現在でも多くの場所で無線LANの接続ができますが、8月には更に整備され、全学教育施設のほぼ全ての場所で無線LANへのアクセスが可能になります。

【キャンパスライセンス】

九州大学では、マイクロソフト社やAdobe社の製品等、各種ソフトウェアのライセンス一括契約を結んでいます。学生の皆さんは、それらのソフトを無償もしくは割引価格で使うことができます。詳しくは情報統括本部ホームページ (<http://iii.kyushu-u.ac.jp/>) をご覧ください。

【教室使用時の注意】

パソコン端末が設置された場所での飲食は禁止です。また、一部の端末には語学学習用のヘッドセットが設置されています。ヘッドセットは壊れやすいため取り扱いに注意すると共に、使用後はモニタに掛けることになっています。

【問い合わせ先】

パソコン全般に関する事は、センター1号館5階の情報管理室、パソコンを用いた語学学習に関する事はセンター1号館4階のCALL準備室までお問い合わせ下さい。

情報管理室 (1510)

場所：センター1号館5階

E-mail: itcinfo@rche.kyushu-u.ac.jp

CALL準備室 (1410)

場所：センター1号館4階

受付時間：8:30～15:30（昼休みは除く）

E-mail: call@flc.kyushu-u.ac.jp

～パソコンによる語学学習～

【ぎゅっとe】

1年生後期開講の「英語ⅡB」と2年生前期開講の「英語ⅢB」では、コンピュータ教室で「ぎゅっとe」という学習プログラムを用いて、読解・聴解・文法の演習を自分のペースで学習します。教育情報システムのコンピュータに慣れておくことをお勧めします。

「ぎゅっとe」については、下記ページをご覧ください。

<http://gyuto-e.jp>

【ネットアカデミー2】

本学の学生・教職員の方は、ネットアカデミー2という英語教材を無料で使うことができます。自宅等の端末からも利用できます。下に示した様々なコースの他、携帯でも使える単語習得プログラムがあります。一部の学部や学府では、授業等で利用されています。

- ・スタンダードコース
- ・スーパースタンダードコース
- ・初中級コースプラス
- ・医学英語＜基礎＞コース
- ・技術英語＜基礎＞コース
- ・技術英語パワーアップコース

詳細については、下記ページをご覧ください。

<http://gogaku.kyushu-u.ac.jp>

【その他の教材について】

上記に加え、全学教育では初修外国語の授業などでもパソコンを用いた学習を取り入れています。詳しくは下記ページをご覧ください。

http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/menu05_learning/m05_top.html

<http://rche.kyushu-u.ac.jp/itcinfo.html>

全学教育科目と専攻教育科目

教育課程の概要

九州大学の授業科目は大きく、「全学教育科目」と「専攻教育科目」に分けられます。全学教育と専攻教育とは有機的な連関のもとで、4年（医学部医学科・歯学部・薬学部臨床薬学科は6年）一貫の教育として行われます。このうち各学部・学科ごとに行われる専攻教育は高い専門性を培うことを目的としていますが、全学教育は各学部の専攻教育科目を学ぶ上で共通する基礎的な能力を培うことを目的とするほか、本学の学生にふさわしい教養と知識を身につけることを目的とし、本学の総合大学としての機能を活かす形で、すべての学部・大学院・その他の部局の教員が協力して全学一体となって行われます。

専攻教育科目と全学教育科目については、学部・学科ごとに履修すべき科目や単位数が定められています。このほかに、すべての全学教育科目と他の学部・学科の専攻教育科目（所属する学部・学科によっては一部の場合あり）の中から選択履修する「総合選択履修方式」があります。

平成21年4月から、全学教育は伊都キャンパスで行われ、専攻教育は原則として各学部のあるキャンパスで行われます。

全学教育施設完成予想図



学部(学科)	学期	第1学期・第2学期 (1年前期・後期)	第3学期 (2年前期)	第4学期 (2年後期)	第5学期～ (3年～)
文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部(数学科を除く) 工学部(建築学科) 農学部		伊都地区(週4日) 【全学教育科目を履修】 箱崎地区(週1日) 【専攻教育科目を履修】		箱崎地区(全日) 【全学教育科目を履修】 (週1日英語科目を履修) 【専攻教育科目を履修】	箱崎地区(全日) 【専攻教育科目を履修】 【総合選択履修方式により選択した科目を履修】
医学部 (医学科・生命科学科)		伊都地区(週4日) 【全学教育科目を履修】 病院地区(週1日) 【専攻教育科目を履修】 ※医学部保健学科看護専攻の1年前期については、伊都地区(週3日)・病院地区(週2日)となります。	伊都地区(週2日) 【全学教育科目を履修】 病院地区(週3日) 【専攻教育科目を履修】	病院地区(全日) 【全学教育科目を履修】 (週1日英語科目を履修) 【専攻教育科目を履修】	病院地区(全日) 【専攻教育科目を履修】 【総合選択履修方式により選択した科目を履修】
医学部 (保健学科)			病院地区(全日) 【全学教育科目を履修】 (週1日英語科目を履修) 【専攻教育科目を履修】		
歯学部 薬学部			伊都地区(週2日) 【全学教育科目を履修】 病院地区(週3日) 【専攻教育科目を履修】		
芸術工学部		伊都地区(週4日) 【全学教育科目を履修】 大橋地区(週1日) 【専攻教育科目を履修】	伊都地区(週2日) 【全学教育科目を履修】 大橋地区(週3日) 【専攻教育科目を履修】	大橋地区(全日) 【全学教育科目を履修】 (週1日英語科目を履修) 【専攻教育科目を履修】	大橋地区(全日) 【専攻教育科目を履修】 【総合選択履修方式により選択した科目を履修】
理学部(数学科)		伊都地区(全日) 【全学教育科目を履修】(週4日) 【専攻教育科目を履修】(週1日)		伊都地区(全日) 【全学教育科目を履修】 (週1日英語科目を履修) 【専攻教育科目を履修】	伊都地区(全日) 【専攻教育科目を履修】 【総合選択履修方式により選択した科目を履修】
工学部(建築学科を除く)					
21世紀プログラム		主として伊都地区 【全学教育科目を履修】 【21世紀プログラム独自科目を履修】		選択した科目の開講地区 【専攻教育科目を履修】 【総合選択履修方式により選択した科目を履修】	

※ 理学部数学科は、平成21年10月に伊都地区に移転予定。

※ 医学部保健学科看護学専攻は、第1学期(1年次前期)は病院地区で週2回低年次専攻教育科目を履修

※ 21世紀プログラムは、指導教員の指導により各人の履修計画が異なる。

※ 工学部(建築学科を除く)は、伊都地区に移転済み。

学部ごとの
履修時期・場所

は、主に伊都地区センターゾーンで行われる
全学教育科目の履修時期を示す。

ビッグどら

生活支援施設

「ビッグどら」は、食堂・喫茶、コンビニ、書店、ATMがある生活支援施設です。パーティーなどにも利用可能なゆとりのスペースを持ち、食堂・喫茶では約50種類のメニューから選べます。天気の良い日には屋上のテラスで食事ができます。

◆食堂・喫茶〔三菱電機ライフサービス〕(1・2階)

座席数 : 室内 743 席, 室外 108 席

営業時間 : 8:00 ~ 19:30

◆売店〔ローソン〕(2階)

営業時間 : 7:00 ~ 21:00

◆書店〔紀伊國屋書店〕(2階)

営業時間 : 10:00 ~ 19:00



生活支援施設完成予想図



センターゾーンに整備する生活支援施設は、食堂・喫茶、コンビニ、ATMと、学生の健康をサポートする「健康科学センター」などが入る複合施設です。健康科学センターでは、一般的な診療に加え、心理健康相談や精神保健相談、健康測定などのサポート体制を整えています。

◆食堂・喫茶〔大学生協〕

座席数 : 920 席

営業時間 : 8:00 ~ 20:30

◆売店〔ローソン〕

営業時間 : 7:00 ~ 21:00

センターゾーン

生活支援施設

その他、全学教育施設南棟、ビッグオレンジ、理系図書館にカフェやレストラン、書店が整備されます。また、工学系教育研究施設ウエスト2号館には売店が入っており、工学部バス停近くには学生と教職員が気軽に集え、地域住民の交流の場ともなる「アカデミックらんとん」があります。

◆全学教育施設南棟〔カフェ・軽食〕(200 席)

営業時間 : 8:00 ~ 19:30

◆ビッグオレンジ〔レストラン〕(130 席)

営業時間 : 11:00 ~ 19:30

◆理系図書館ロビー〔カフェ〕(40 席)

営業時間 : 11:00 ~ 19:30

◆ウエスト2号館〔売店〕

営業時間 : 7:00 ~ 23:00



ビッグオレンジは、伊都キャンパスを訪れる方へのインフォメーションセンターの役割も担っています。(上)

課外活動施設・総合体育館等

サークル活動等の場

フィルハーモニーオーケストラや茶道部、書道部、落語研究会などの文化系サークルと、アメリカンフットボール部、野球部、陸上部、バスケットボール部などの体育系サークルがあり、5,000人を超える学生が日々活動しています。

課外活動施設は、学生がサークル活動を行うための施設であり、伊都キャンパスには4階建ての建物が整備されます。同様の施設は箱崎と大橋キャンパスにも整備されています。

その他、正課授業などにも使われる総合体育館や、多目的運動場、テニスコート、陸上競技場、弓道場などが整備されます。



課外活動施設完成予想図



総合体育館完成予想図



主な課外活動行事

- 九州地区大学体育大会（7月、11月）
全九州地区の国・公・私立大学（短大含む）の学生が参加する学生スポーツの一大祭典。
- 全国七大学総合体育大会【七大戦】（7月）
九大、阪大、京大、名大、東大、東北大、北大の旧帝国7大学による伝統の大会。
- 体育祭（10月）
体育系サークル主催でバラエティーに富んだ競技が行われ、約3,000人の学生が参加。
- 九大祭（11月）
大学の学園祭。大橋キャンパスでも行われる。

ドミトリー・II

生活の場

「ドミトリーⅠ」は、日本人学生・外国人留学生の男女混住型の宿舎として、生活しやすく、学生間の日常的な交流や地域の人たちとの出会い、ふれあいの場となる施設として建設されています。1階には多目的ホール、コインランドリー、身体障害者用居室（2室）を備え、2階から10階までが居室となっています。

平成21年4月に新たに完成予定の「ドミトリーⅡ（242名）」と合わせると496名の学生が居住できます。



	収容人員	1室面積	料 金	主な設備
ドミトリーⅠ	254名（1室1名）	13m ²	寄宿料 18,500円/月 共益費 4,500円/月 （光熱費は個別支払）	机、椅子、本棚、ベッド、下駄箱、収納戸棚、ミニキッチン、エアコン、ユニットバスなど
ドミトリーⅡ	242名（1室1名）	17m ²	寄宿料 25,500円/月 共益費 4,500円/月 （光熱費は個別支払）	



1

今宿・九大学研都市駅
周船寺・田尻・高田地区

最寄りのJR駅がある今宿、九大学研都市駅、周船寺、田尻、高田地区を中心に民間のワンルームマンション、アパート（家賃4万円～5万円台）があります。

キャンパスまでの直線距離は約3～5kmですので自転車通学も可能です。

2

前原市街地

標準タイプの学生アパートで家賃は3万～4万円台となっています。キャンパスまでの直線距離は、筑前前原駅で約5km、波多江駅付近から約3kmですので自転車通学も可能です。

筑前前原駅と波多江駅からコミュニティバスも運行しています。

3

糸島郡志摩町市街地

標準タイプの学生アパートで家賃は3万5千円台となっています。キャンパスまでは直線距離で約5kmですので自転車通学も可能です。

天神にはバスで筑前前原駅まで（約20分）行き、JR-地下鉄を利用します。

4

福岡市西区姪浜周辺

標準タイプの学生アパートで家賃は4万5千円台となっています。

JRで九大学研都市駅まで行き、昭和バスに乗り換えて通学することになります。

キャンパスまでは直線距離で約10kmありますので、自転車通学は少しきついでしょ。

5

福岡市早良区西新周辺

標準タイプの学生アパートで家賃は5万円台となっています。

地下鉄-JRで九大学研都市駅まで行き、昭和バスに乗り換えて通学することになります。

キャンパスまでは直線距離で約13kmありますので、自転車通学は少しきついでしょ。

6

その他の地区

西区、早良区以外の福岡市又はその近郊、糸島郡志摩町、二丈町あるいは唐津市なども通学圏として考えられます。

学生アパートの家賃は地区によって様々ですし、通学時間や交通費の負担もかかることになります。

生活の場
キャンパス周辺の住居事情

〈生活情報マップ〉



〈周辺の様子〉



九大学研都市駅上空より空撮



前原市商店街



学生アパート



街並み

〈交通アクセス〉

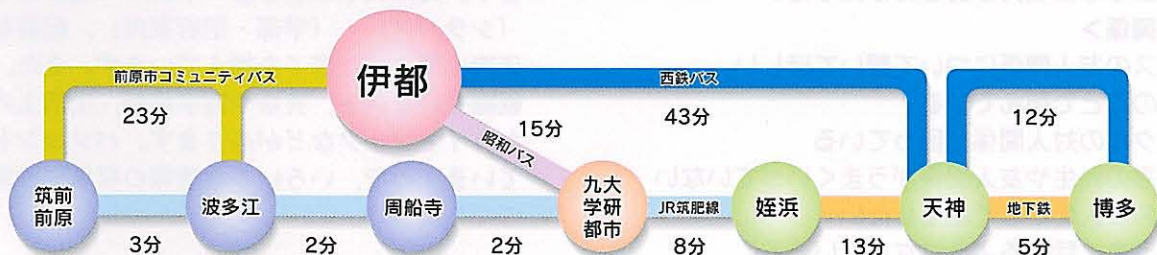


福岡空港から	公共交通	福岡空港	(地下鉄・JR筑肥線)	九大学研都市駅	(昭和バス) ※3
			540円		192円 ※1
博多駅から	公共交通	博多駅	(地下鉄・JR筑肥線)	九大学研都市駅	(昭和バス) ※3
			510円		192円 ※1
	公共交通	博多駅Aバス停	(西鉄バス[都市高速経由])		650円 ※2
天神から	公共交通	天神駅	(地下鉄・JR筑肥線)	九大学研都市駅	(昭和バス) ※3
			510円		192円 ※1
	公共交通	天神ソラリアステージ前2Bバス停	(西鉄バス[都市高速経由])		600円 ※2
前原から	公共交通	筑前前原駅	(前原市コミュニティバス) ※4		
		波多江駅	200円		

伊都キャンパス
(福岡市西区元岡744)

※キャンパス内に2カ所
バス停あり

- ※1 JR九大学研都市駅と伊都キャンパス間を結ぶ昭和バスの割引回数券(26枚綴/5,000円)の場合の片道運賃(片道330円)と比べてお得になっています。
- ※2 博多・天神方面からは、西鉄バスの都市高速経由の直行便が運行しており、エコルカード(7,000円/1カ月)の利用も可能です。エコルカードは、福岡都市圏の西鉄グループの路線バスが乗り放題で、通学以外にも利用できます。
- ※3 福岡市営地下鉄各駅からJR九大学研都市駅で下車し、昭和バスに乗り換えて伊都キャンパスまで行く場合は、複合型の便利な回数券「伊都キャンパス回数券(10枚綴/5,000円)」があり、片道運賃500円とお得になっています。
- ※4 JR筑前前原駅や波多江駅から伊都キャンパスの間を結ぶ前原市コミュニティバス(3ルート)が運行されています。



注) 平成21年1月現在のものです。六本松の移転に併せて、バスの増便等が予定されています。

こんなとき、学生生活・修学相談室を利用してください。

—新しく九大生になった人に、すでに九大生の人にも—

みなさん、こんにちは。新学期のスタートに当たって、ここでは学生生活・修学相談室についての紹介をしたいと思います。

大学生活を始めてみると、誰でも入学前には予想しなかったようなことで困ったり、悩んだりすることがあります。大学内には、相談窓口がいくつかありますので、問題に応じて上手に利用してください。学生生活・修学相談室では、以下のような、さまざまな問題について、学生さんと一緒に話し合いながら、解決の糸口を丁寧に探していくことをします。利用できる人は、学部生、院生を問いませんし、保護者の方からの相談にも応じています。

＜新しい環境に馴染めない＞

- ・福岡にきて、カルチャーショックを受けた
- ・編入学で新しい大学環境に慣れない
- ・他大学出身で、研究室の雰囲気に馴染めない

＜勉強＞

- ・大学での勉強の仕方を知りたい
- ・時間割の組み方が分からない
- ・単位取得が進まない
- ・授業で聞いても、分からない科目がある
- ・学部を変えたい
- ・今の勉強が、将来とどう繋がるのか
- ・どのような研究領域があるのか知りたい
- ・研究室について知りたい
- ・大学院に行くために、必要な勉強は？
- ・勉強に対する意欲が、なくなった

＜進路＞

- ・大学卒業後、進学するか、就職するか迷う
- ・進路をどのように決めたらいいか分からない
- ・どのような就職先があるのか知りたい

＜対人関係＞

- ・クラスの友人関係について聞いてほしい
- ・家族のことで悩んでいる
- ・サークルの対人関係で困っている
- ・研究室の先生や友人関係がうまくいっていない
- ・異性の友人のことで話をしたい
- ・人とうまく話せるようになりたい

＜学生生活＞

- ・大学入学後、目標がなくなり、元気がでない
- ・授業、サークル、バイトの時間配分ができない
- ・サークルの活動はできるが、授業に出ていない
- ・朝起きれずに、授業に出れなくなった
- ・バイト先で困ったことが起きた

＜性格・将来・生き方＞

- ・自分自身について考えたい
- ・将来の目標をどう立てたらいいのかわからない
- ・生き方について考えてみたい

このようなさまざまな問題に対して、相談員が何らかのアドバイスをして短期間で解決できるものもあれば、絡まった糸をほぐしつつ、ゆっくり時間をかけて、相談員と相談者が一緒に解決の道を探すこともあります。今まで他人にあまり相談をしないできた人もいるかもしれませんが、事柄によっては、人に話を聞いてもらい、いろいろな考え方に耳を傾けると、一人では考えつかなかった、新しい知恵が浮かぶかもしれません。人は生きていく中で、好むと好まざるとにかかわらず、いろいろな種類の困難に遭遇します。その時に、一つではなく幾つもの対処法（コーピング）を身につけている方が安全と言えるのではないのでしょうか。

学生生活・修学相談室は、臨床心理学の教員で臨床心理士資格を持つ4人の常任相談員と、各学部・学府相談員の教員から構成されています。相談内容が研究や専門領域に関係する場合は、常任相談員が学部・学府相談員をご紹介します。

困った時は、一人で悩まずに、是非一度訪ねてみてください。

待合いロビーには、ブラウジング・コーナーがあります。九州大学の全学部・学府の「履修の手引き」、
「シラバス」、
「学部・学府案内」、
紀要など修学や研究に関連した冊子を揃えています。また、卒業生の就職先のリスト、資格や留学情報、生活上のさまざまなガイドブックなどがあります。パソコンも設置されていますので、いろいろな情報の収集や検索にも役立ててください。

—相談したいときは—

「学生生活・修学相談室」は伊都地区はセンターゾーン1号館1階、箱崎分室は箱崎理系地区50周年記念講堂2階にあります。それぞれの受け付けを直接訪ねるか、電話で相談の申し込みをしてください。常任相談員との面接の日時を決めます。

■受付電話番号と受付時間

- ・伊都地区 092-802-5820
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(12:00～13:00は昼休み)
- ・箱崎分室 092-642-3886
月・木曜日 13:00～17:00
火曜日 10:00～12:00
15:00～17:00
水曜日 10:00～17:00
(12:00～13:00は昼休み)

■常任相談員

・吉良安之 ・福留留美 ・山下親子 ・高野尚子

相談の秘密には、十分な配慮をしています。また、各学部や学府の専門的な勉強や研究に関する相談については、各学部・学府相談員の先生方を紹介します。

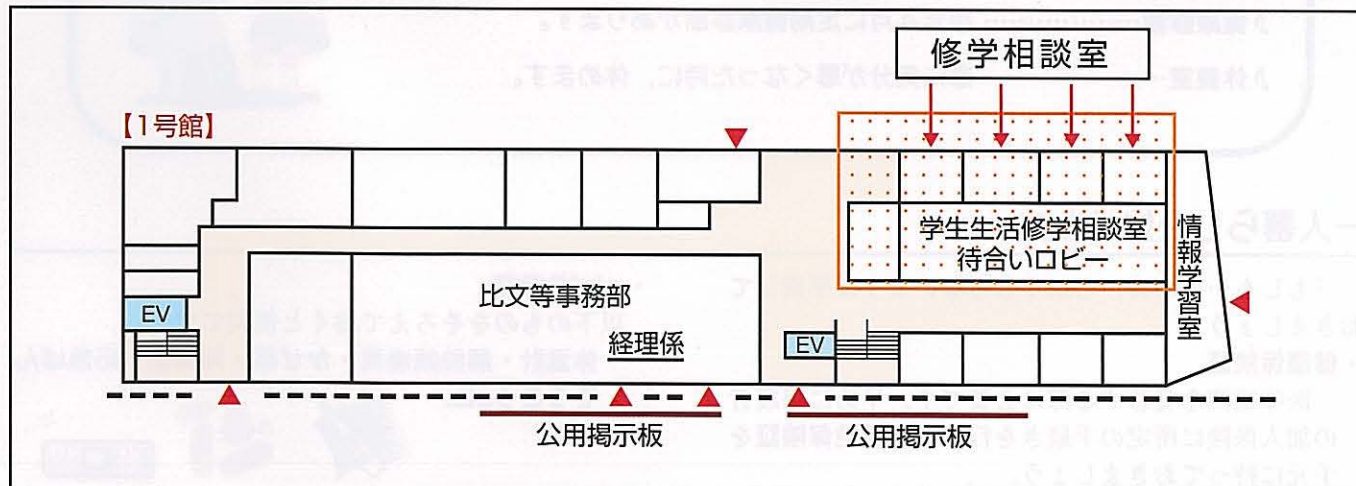
■学生生活・修学相談室のホーム・ページ

相談室のホーム・ページをご覧ください。

アドレス <http://cg.rc.kyushu-u.ac.jp/>



伊都地区センターゾーン1号館1階地図



健康科学センター健康相談室より

皆さんこんにちは。新しい学年がスタートしましたね。大学生活はいかがですか？新入生の皆さんは、期待に胸躍らせていることでしょう。他の学年の皆さんも1年の始まりに気持ちを新たにしているところでしょうか……。

さて、健康科学センター健康相談室は、九大生のみなさんの健康相談窓口です。小・中・高校にある保健室と同じように、健康診断、授業や部活中のけがの処

置、体調不良時の相談などに応じています。

平成21年度から1～2年生の皆さんが通学する伊都キャンパスセンターゾーンの健康相談室は、センター2号館横の生活支援施設2階にオープンします。

新しい生活（環境の変化）は、体調にも少なからず影響を及ぼします。もし心身の不調を感じたら、早めにご相談ください。

健康相談室ご利用案内

健康相談室では、医師や保健師・看護師が皆さんの心身のご相談に応じています。ぜひご利用ください。

♪利用できる時間……… 月～金曜日9:00～17:00

♪健康相談……… 内科医や精神科医の診察を受けることができます。精神科は予約制です。

診察時間は曜日によって異なりますので、相談室入り口の掲示で確認してください。

♪医療機関の紹介……… 医師の不在日や相談内容によっては、近医を紹介する場合があります。

九大病院など総合病院の受診には、紹介状が必要です。

受診を希望する時は、まずご相談ください。

♪応急処置……… 学内でのケガの応急処置を行います。

傷口を水道水できれいに洗ってから来て下さいね。

♪健康チェック……… 身長・体重・体脂肪率・血圧などの測定ができます。

♪健康診断……… 毎年4月に定期健康診断があります。

♪休養室……… 急に気分が悪くなった時に、休めます。



一人暮らしを始めた方へ

「もしも…」の時、心細くならないように準備しておきましょう。

・健康保険証

医療機関を受診する際に必要です。早めに保護者の加入保険に所定の手続きを行い、遠隔地保険証を手元に持っておきましょう。

・mini救急箱

以下のものをそろえておくとう便利です。

・体温計・解熱鎮痛薬・かぜ薬・胃腸薬・応急ばんそうこうetc.



では、よくあるご相談を、症状別にアドバイスとともにご紹介いたします。

予防は……

うがい 手洗い
休養 栄養

風邪

風邪は、ウイルスの感染によって起こります。のどの痛みや咳、鼻水などの症状は、侵入したウイルスを攻撃し、排除しようとする身体の防御反応です。

残念ながら風邪には特効薬はありません。安静に過ごすことが一番です。症状がひどく眠れない時などは、症状を和らげる薬を使用することもあります。



熱が出たら…

発熱は、身体の中で炎症反応が起きているサインです。徐々に上がる熱はピークを越えた時点で、自然に下がってきます。安静にして体力の消耗を防ぎましょう。水分をじゅうぶんに補給しながら休んでください。

もし、急に高熱(38.5℃以上)が出る場合は、インフルエンザの可能性もあります。その時は速やかに受診してください。

よく学び、よく遊ぶ！
ちゃんと食べて、じゅうぶん眠る！

下痢

下痢は、ウイルスや細菌によって大腸の粘膜が炎症を起こした時に見られる症状で、食べたものが腸で十分吸収されずに出てしまう状態です。1日に何回も下痢をする、熱や嘔吐を伴う場合はすぐ受診しましょう。

水分をじゅうぶんに補給していれば、少々食べられなくても心配はいりません。症状が軽くなってきたら、消化のよいものを食べましょう。

消化のよい食品

おかゆ、雑炊、うどん
スポーツ飲料（冷たくないもの）



消化の悪い食品

サラダ（生野菜）
フライ、天ぷら（油を使用した料理）
カレーライス、もつ鍋（香辛料を使用した料理）
コーヒー、炭酸飲料、牛乳



頭が痛い



頭痛は、頭の血管の拡張や炎症、筋肉のこりや神経系の炎症が原因で起こります。風邪や寝不足など、理由のはっきりしている一時的な頭痛であれば、休養によってたいていはおさまります。

しかし、頭を強く打った後などに起こる頭痛は、緊急事態です。すぐ脳神経外科や救急病院を受診しましょう。

生理痛

生理痛の主な症状は、下腹部の痛みと腰痛です。日常生活に支障をきたすほど痛む場合は、鎮痛薬を使用してみてもよいでしょう。痛み始めたら早めにのむと、効果があります。また、冷えは生理痛を悪化させるようです。おしゃれも大事ですが、足腰の保温にも気を配ってくださいね。



新型インフルエンザ発生の危険性が高まっています。

九州大学 健康科学センター

H5N1 鳥インフルエンザウイルスの鳥での感染地域拡大に伴い、2003 年以降鳥からヒトへの H5N1 鳥インフルエンザウイルス（以下 H5N1 と略）感染例は増加の一途をたどっています。

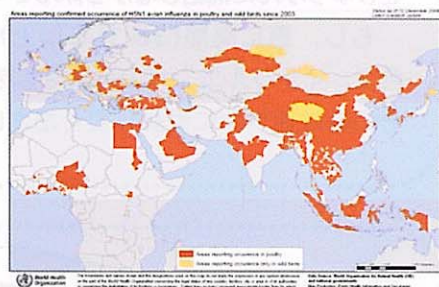
新型インフルエンザの発生は、“If”ではなく“When”という段階です。

新型インフルエンザが発生した場合に、慌てずに正しい対応がとれるように、正確な知識と情報を得て、現状についての理解を深め、食料・日用品の備蓄を含めた準備を行ってください。

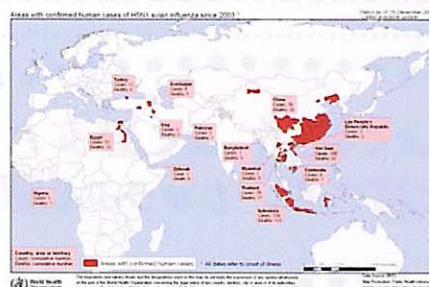
1. 新型ウイルス出現は秒読み段階です。

鳥のインフルエンザウイルスからヒトヒト感染が容易な**新型インフルエンザウイルス**に変異することは時間の問題です。新型ウイルスは、大量・高速交通の発達した現代では、週あるいは日の単位で全世界への拡大が進むと考えられます。

鳥などの感染が確認された地域（15/Dec/2008）



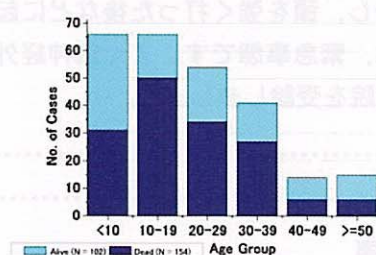
人への感染が確認された地域（27/Jan/2009）



2. H5N1 によるインフルエンザは単なる呼吸器疾患ではありません。

H5N1 は全身のあらゆる臓器に感染を引き起こし、全身の臓器を障害します。1 月 27 日現在、WHO の公式発表では**感染者数 403 人 死者数 254 人 死亡率 63.0%** となっています。

3. 10～30 代の若い世代で極めて重症化することが知られています。



H5N1 患者には免疫応答の異常が認められており、このことが死亡率の上昇を招いています。この免疫応答の異常は**10～30 代**に強く、学生の皆さんの世代が最も影響を受けやすいことを認識して下さい。左の図中で、濃い青色は感染者全体（水色）に占める死者を示しています。WHO: Weekly Epidemiological Record: 9 FEBRUARY 2007, No.6, 2007, 82, p46, Table6 より作図

4. 鳥インフルエンザが確認されている地域への旅行等は可能な限り控えてください。

地図で示している地域は、鳥や人での感染が“**確認**”されている地域です。医療や社会基盤上確認が困難な地域についての情報はありません。人での感染が確認されているのは**15ヶ国**です。

5. H5N1 が確認された地域へやむを得ず渡航した場合の対応について

現地ではマーケットなど鳥がいる場所に近づかないで下さい。帰国時に体調不良がある場合は必ず空港の**検疫所**にお寄り下さい。また、帰宅後に発熱を認めた場合には医療機関を受診する前に、まず**検疫所**、保健所へ電話でご連絡下さい。その後、健康科学センターにもご連絡をお願いします。

健康科学センターのHPに最新情報と詳しい情報の入手先（機関名とリンク）を掲載しています。

新型インフルエンザ発生前における予防対策について

1. 外出時のマスク着用や外出後のうがい・手洗い

新型インフルエンザに限らず感染症全般に言えることですが、特に不特定多数の人間がいる場所に行く場合にはマスク着用が有効です。

2. 人混みや繁華街への不要不急の外出を控える

年末年始で出かけることも多くなると思われますが、外出時のマスク着用および外出後のうがい・手洗いは行ってください。

3. 十分な休養とバランスよい食事をとる

ウイルスによる疾患は抵抗力が弱っていることでさらに罹患しやすくなります。健康管理に留意してください。

4. 野鳥には近づかない、死んだ野鳥には触れない

特に渡り鳥、水鳥には近づかないようにしてください。

5. 新型インフルエンザ発生に備えて食料・日常生活品の備蓄につとめる。 (2週間分)

米、缶詰（果物なども）、スポーツ飲料（粉末）、ミネラルウォーターなど
常備薬、マスク、解熱用ジェル、トイレットペーパー、生理用品、カセットコンロ

新型インフルエンザの発生が国内で確認された場合

集団感染予防と健康被害抑制のために全学休講となります。

その際には以下のことを守ってください。

1. 情報収集を怠らず、正しい判断を行うこと。(マスコミだけではなく、 九大 TOP ページ、健康科学センターHP 等でも情報発信を行います。)

2. 休講解除まで、自宅で待機し外出しないこと。

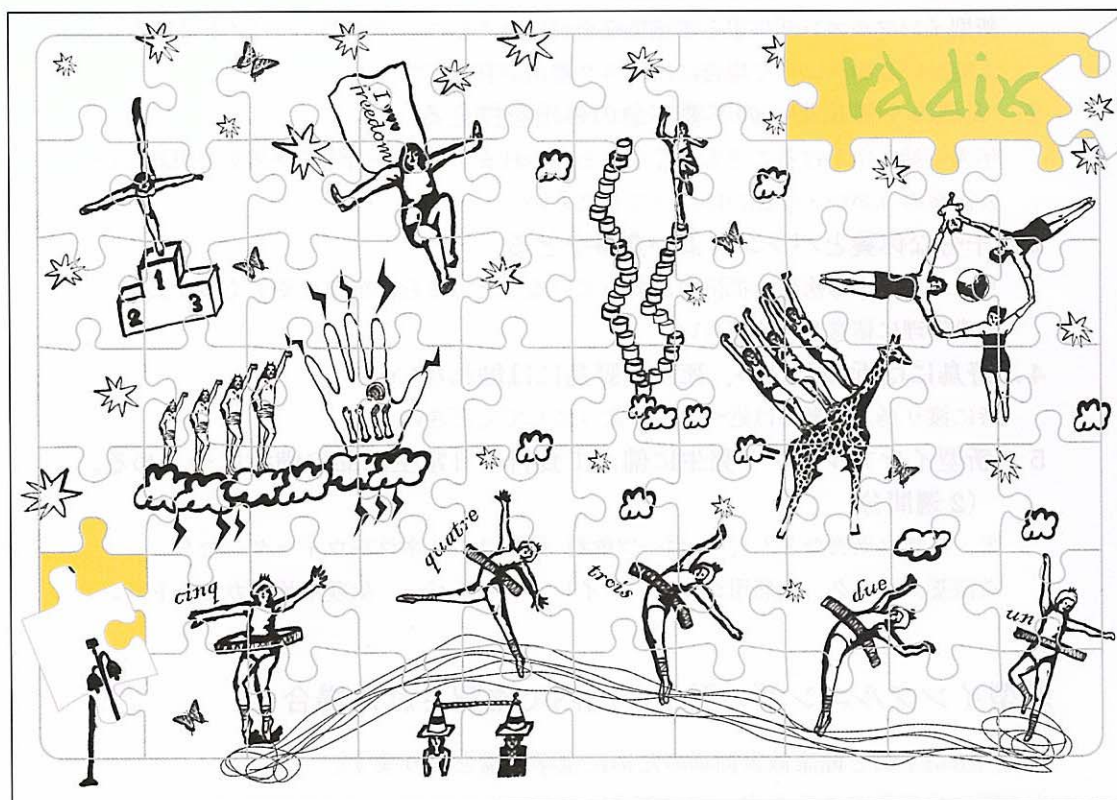
3. 万が一外出が必要な場合は、マスク・ゴーグルなど着用の上 乗客の多い公共交通は極力避けること。

4. 外出後の帰宅時には、手洗い、洗顔、うがいを必ず行うこと。

5. 発熱等、新型インフルエンザ発症の疑いを持った時は速やかに検疫所、 保健所、健康科学センターに連絡をすること。

メールアドレス：pandemicflu@ihs.kyushu-u.ac.jp

表紙話



芸術工学部 画像設計学科3年 日高李衣子

校内情報誌を担当させていただくことになり、真っ先に考えたのは、この情報誌を見た人が一人でも多く手に取ってくれるような表紙にしようということです。あれこれ悩んだ末「不思議な絵」を書こうと決めました。「不思議な絵」をきっかけに興味本位でも、手に取ってくれる人がいたら成功だ…と考えたからです。

大学に入学してからあっという間に3年間が過ぎ、私は今就職活動に力を入れなければならない時期になりました。これから社会に飛び立つ立場としては、将来に対する期待や不安で頭をかかえる毎日です。自己の目標に向かって苦悩しながら成長している学生みんなを応援する意味で、この表紙のコンセプトは、『躍動』。躍動の中にも、時に遊び心は必要です。そんな遊び心をジグソーパズルで表現しました。

サークル活動に励んでいるあなたも、バイトに励んでいるあなたも、勉強に励んでいるあなたも、課外活動に励んでいるあなたも、皆が躍動しています。どんなにきつくても、諦めようか悩んでいても、結果が出ないと思っても、何かを考え悩むということは成長している証です。絶対に立ち止まらず、前を向いて頑張るんだ！そういう気持ちを絵に表現しました。少しでもみんなの励みになれば、と思います。

私は、大学で良い仲間や先生に出会えたこと、そしてこの環境を与えてくれた親にも感謝しつつ悔いのない大学生活を送りたいです。

あ と が き

編集委員のAです。小生、全学教育を担当するようになってから、まだ1年半という新米同然の教員です。全学教育を担当していると、授業以外にも様々な社会活動をしている学生さんに出会うことが結構あります。アルバイトばかりしていた自分の学生時代と比較すると、各種サークルやNPO団体等で活動している学生さんを見ると「勉強だけでなく色々な分野でがんばってるんだなあ」と感心することもあります。この『Radix誌』バックナンバーの執筆者を見て、「あっ、この人、自分の授業を受けていた!」と気付く場合もあります。ただ残念なことに、九大のように大所帯で、しかも活動的な学生さんが集まっている大学では、せっかく精力的な活動をしていてもあまり注目されず、埋もれてしまう場合も、多々あるのではないかと感じます。この点については、小生が以前勤めていた比較的規模が小さい私立大学とは大きく異なっているように感じます。このような学生さんたちの活動を紹介していくことが『Radix誌』の役割の1つだと思います。これからも、本誌では、サークル活動やNPO団体、勉強・研究活動等、伊都地区や全学教育の場を舞台にして活躍している学生さんの活動を積極的に紹介していきたいなあと思います。

「歴史と社会一歩いて歴史を考える」を受講して	荒尾 翠…2
御田植祭に参加して	八尋衣里奈…3
サークル紹介 42	
やります☆女子バレー部!!!!	北田 法恵…4
「辺境地」九州大学文芸部の魅力	樽海満里奈…5
CHANGE THE FUTURE	
～これからの九大祭に向けて～	水本 聡…6
ホームカミングデー2008	……………11
～さようなら そして ありがとう 六本松～	
九州大学伊都キャンパス	……………14
ー新しいキャンパスライフー	

九州大学六本松地区の伊都移転によせて	九州大学総長・有川 節夫…17
伊都キャンパスへようこそ	川本 哲…18
新しいキャンパススタイルを創る	久保山 宏…19
伊都キャンパスを使いこなそう	……………20
こんなとき、学生生活・修学相談室を利用	……………30
してください。	
健康科学センター健康相談室より	……………32
新型インフルエンザ発生の危険性が高ま	……………34
っています。	
表紙話	日高李衣子…36

投稿・写真歓迎

編集委員会ではradixへの投稿、紙面を飾る写真を募集しています。あなたが関わっている様々な活動、六本松地区や「全学教育」にまつわる出来事、六本松の思い出など、六本松や「全学教育」に関するものであれば何でも結構です。

表紙写真も、キャンパスでのもの、旅先でのものをはじめ、あなたの作品、ぜひ紹介したい知り合いの作品など、広く募集しています。応募、推薦の対象は六本松や「全学教育」に関わりのある全ての方です。

radix 学生モニター募集

編集委員会ではradixに対する学生の意見・要望を聞くためにモニターを募集しています。また学生編集委員も募集しています。募集は常時行っています。

投稿、写真、学生モニター・編集委員の応募は下記で受け付けています。

編集委員 阿部 康久 (比 文TEL726-4601) 一宮 厚 (健 セTEL583-7858) 清川 昌一 (理 学TEL642-2666)
 (08年度) 栗山 暢 (言 文TEL726-4695) 直野 章子 (比 文TEL726-4594) 濱本 満 (教 育TEL642-3146)
 福留 留美 (高推セTEL726-4805) 三原 公 (事務室TEL726-4582) 吉嶺 嘉人 (歯 学TEL641-6432)
 米村 典子 (芸 工TEL553-4517) 渡邊 哲司 (高推セTEL642-4490)
 教育支援係 (事務室TEL726-4526)



radix (ラーディクス) No.50 九州大学全学教育広報

発行日 2009年3月13日

発行所 九州大学高等教育開発推進センター

〒810-8560 福岡市中央区六本松4-2-1

電話 (092) 726-4525・4526

Fax (092) 726-4530